

小月地区まちづくり集会（H25.9.29開催）

小月地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月29日（日）10:30～12:00

◎場 所 小月公民館

◎出席団体数 16団体

快適環境づくり推進協議会、小月第3自治会、小月小学校PTA、小月婦人会、小月商工振興会、小月長寿会、小月スポーツ振興会、小月地区民生児童委員協議会、小月地区社会福祉協議会、下関市消防団小月分団、小月校区子ども会、小月地区ふるさとまちづくり協議会、小月地区食生活改善推進委員、小月地区保健推進委員会、下関農業協同組合小月支所、東部地区青少年健全育成協議会

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也
小月支所支所長：三井正憲

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 10:30～ |
| 2 部次長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 10:35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11:00～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 12:00 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

小月地区まちづくり集会（H25.9.29 開催）

【開催の様子】

9月29日に開催した小月地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から16名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、小月地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

小月地区まちづくり集会の中で、参加者どうしで話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

小月地区まちづくり集会			9月29日 小月地区まちづくり集会			№2 9月29日	
地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
防災 消防団員が少なく活動に支障が生じる サイレンが聞こえない・避難で公民館は動物はダメ、時計の設置		活動の広報・勧誘 高齢者参加の場合は見返りがあれば 公民館を利用 児童クラブの充実(古田の柳) 子供に絵を描いてもらう等のアイデア	出勤に費用弁済制度の導入(企業実働のみを確認済) 都市計画の見直し 行政の支援 企業誘致	その他 小月公園の駐車場整備 宿泊施設がない 地域団体のエリア拡大・もっとコミュニケーションを			
子育て 少子化で将来不安・若者の流出 遊び場がない(子育てしやすい環境を)				福祉 福祉員制度の周知			
その他・高齢者 シャッター街、街がさびしい 文化施設がない 家族構成等の情報把握(個人情報問題) もっと魅力的な街を		駅ロータリーのイルミネーション点灯 名簿作成(行政の協力) 協力して取り組みを	行政の支援				
教育 活動に対する制限や個人の負担が大きくなった							

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

小月自治連合会の会長をしています。

これから後の会議進行を、僭越ながら私が進めさせていただきます。どうかご協力のほど、よろしく願いいたします。この後は座らせていただきます。

今、市から色々な説明やお話がありましたので、そのことをお聞きになりながら、皆さんも色々なことをお考えになったのではないかと考えております。

そういうことで、先ほどの話にもありましたように、地域の現状と将来を見据えた課題について、ということで、前半はご意見をいただき、今後の課題の解決に向けて話を進めていけたらという具合に考えておりますので、よろしく願いします。

色々とおもうと思いますので、今からご意見をいただきますが、先ほど話がありましたように、ご意見のある方は挙手の上、ご意見をいただけたらと考えております。よろしく願いします。

課題について、まず入りたいと思いますが、どうぞ、どなたでも結構です。

ご意見が無ければ、ご指名させていただくことになろうと思います。

小月商工振興会から、若者を代表して一言ありましたらお願いします。

【市民】

小月商工振興会の副会長をしています。よろしく願いします。

小月商工会は、130社近くの会員を擁しておりまして、この地に貢献していきたいということで、町を楽しくするためのイベントの開催を中心に活動しています。

交流については、例えば商工会が中心となって、行政の力も借りながら、それから防災についても、自治会の力を借りながら、活性化にむけた活動を続けていて、地元の交流もしてきております。

小月の現状としては、皆さんもご承知でしょうが、現状はシャッター街になっていまして、要するに時代には逆らえないというような形で、建物だけがそのまま残っているような状況ですが、今は少しずつ開けてきて、駐車場なんかが出来てはいるのですが、まだまだ寂しい町であるという現状です。

出来るならば、我々、若い者が中心となって、この町をもっと豊かにしていける形ができればと考えています。

近々、この11月25日から、ちょっと寂しい夜を少しでも輝かせることができたということで、小月駅ロータリーの築山に、イルミネーションを設置し、点灯させようという話になっています。これについては、行政からも、ある程度の助成をいただくことで、やれているという現状でございます。商工会の方々にも、寄付を募るなど、色々しておりますが、実際問題として、景気が余りよろしく無いという現状でございますので、できたら行政も力を寄せていただけたらと思います。

【司会】

ありがとうございます。今、商工会の方からお話がありましたが、今日は、それぞれの

小月地区まちづくり集会（H25.9.29 開催）

会を代表されて出席しておられると思いますので、その辺のご意見でも結構ですし、自分個人でこう思っているという事でも結構ですので、できるだけ沢山のご意見を出していただきたいと思います。ついてはあまり難しくならないように簡潔にご意見をいただいたと思っております。よろしく願いいたします。今、防災のことでお話がありましたが、消防団の方から何かそれに関連したようなことがありましたら。

【市民】

小月分団分団長をしています。よろしく願いします。

先ほど小月商工振興会から、防災ということでご意見がありましたが、消防団の現状としては、団員の数が定員に達していない。なかなか消防団員になろうという方がいらっしやらない。これは全体から考えれば、少子化のことも関わっているのかと思いますが、今、消防団員の平均年齢は40歳以上、50歳に近いといった現状です。

そうすると、消防や防災に対する活動援護ができないと言いますか、完璧なものにならない状況です。その辺りを、少子化の事も含め、地域全体の課題として考えていただき、団員を増やすことができれば、十分な活動が行えるようになり、防災にも強い小月地域になるのではないかと思います。

それと、消防活動を一生懸命やっていますが、なかなか地元の方に認めてもらえる機会も少ないので、できれば消防団の活動を、もう少し皆さんに見て頂けるような事ができればと思っていますので、よろしく願いします。

【司会】

今、消防団からのお話の中で、少子化ということが出ましたが、子ども会では、子どもが少ないということで何か課題はありませんか。

【市民】

小月校区子ども会から参加しました。よろしく願いします。

子ども会も、年々、会員数が減っていく中で、色々と活動させていただいているのですが、やはり子どもの数が全体的に少なくなっているのでも、ちょっと寂しいかなと思うのと、5年後、10年後に、子どもの数がどうなっているのかを考えると、心配に思うところもあって、やっぱり若い人が増えるような、地元の若者が外に出ていかないような、何か魅力あるまちづくりを考えていかないといけないのではないかと感じます。

【司会】

なかなか難しい問題のようですが、併せてまちづくり協議会から何かございませんでしようか。

【市民】

小月地区ふるさとまちづくり協議会から参加しました。

今は、少子高齢化が進んでおまして、例えば花の植え替えや、鯉のぼりを揚げられているお宅の数等を見ても、若い人が少なくなったと感じております。

そのため、打開策とまではいきませんが、高齢者が出席された場合には、その活動に見合った待遇といいますか、何らかの見返りを受けられるようにして、高齢者も積極的に参加して頂ける仕組みにしていきたいと思っています。併せて、市からも、やはり補助金等

の援助をして頂きたいと思っております。

【司会】

次に、食生活改善推進委員から、ご意見はありますか。

【市民】

小月地区食生活改善推進委員です。

昨日、子どものお弁当作り実習をしたのですが、だんだんと生徒さんも少なくなってきましたし、子ども自体も塾に通う子が多くなって参加者が少なくなっています。しかし、今後も、私たちは、お弁当作りを通じて、子供たちに喜んでもらえるよう努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

【市民】

小月地区保健推進委員会から参加しました。

食生活改善推進委員会には、いつもご協力を頂いております。

小月地区では、なかなか小さなお子さんを見る機会が少ないので、普段は子育て交流会をやっても20名程度しか集まらないのですが、この度は50名も集まっていただきまして、お子さんが意外と多いことに気づきました。

しかし、この小月地区では、そういったお子さんの遊ぶ場所が無く、特に夏場は、どこ行っても暑いし、日陰のある場所もないので、結局、家にこもったまま、ご近所とのお付き合いも無いといった意見を聞きます。

公民館の空き室を、子どもの遊び場として利用できれば、夏の暑さや梅雨の時期などには、とても良いのではないかと思うこともあります。

それとは全く関係の無い話になりますが、小月の防災についてですが、公民館にあるサイレンが聞こえづらい、大至急、小月町内のどこにいてもサイレンが聞こえるようにして欲しいということが1つ。

あと、避難場所の件ですが、過去に、家から一番近い小月公民館へ車で避難しようとした際、ペットと一緒に利用できないと言われ、車から降ろさない旨の説明をしても他の避難所に行くよう指示を受けたという方がいらっしゃいました。

そうであるならば、最初に、避難場所としての公民館はペットの持ち込み不可といったことを、きちんと明記して頂きたいという意見が会員の中からありました。

また、小月公園には時計が無く、サイレンも聞こえないため、子どもたちも時間を気にせず、夕方遅くまで遊ぶ傾向にあり、公園に時計を付けて欲しいとの意見がありました。

【市民】

下関農協小月支所から参加しました。よろしくお願いします。

先ほど、少子高齢化という問題が出されましたが、我々の団体、農業協同組合でも実は全く当てはまる所があります。

農業従事者の高齢化と、後継者である若手がないという部分が共通の課題だと思っています。

【市民】

今日の集会は、小月地域に限定した話し合いということなので、少しこの地域のことを

考えてみたのですが、やっぱり小月駅の周辺に元気が無いと普段から思っています。

先ほど、小月商工振興会からも話がありましたが、イルミネーションを設置することで、夜間は、いつも見てきれいだなと思っています。

そういった流れの中で、例えば、他の地域でもされているかと思うのですが、商店街のシャッター通りは寂しく感じるので、子どもたちに、そのシャッターに絵を描いてもらえば、楽しい町になる様な、見て楽しめる様な気がするので、そういうのが出来たらいいかなと思っています。

【市民】

私は、あまりアイデアを持っていないのですが、シャッター通りになった原因は、次の担い手がいないためだと思います。私の所も、正直行って跡を継いでくれる子どもがいなものですから、どうしようかなという風に考えています。

【市民】

小月駅前を中心として、我々で頑張れる事はやっていかないといけないと思っていたのですが、これまで、そこの家主は、決まって1人でしたので、なかなか、どうこうすることも出来ませんでした。この度、幸いして、今は駐車場になっていますが、そういう元気のある人が、あの土地を買われて、何かやってくれるのではないかと期待しています。

それぞれに知恵を出し合って、駅前の通りを開発していければと思っていますので、これも市に協力していただけたらと考えています。

【市民】

小月第3自治会から参加しました。

何かをするにしても、今の自治会の家族構成、どこの家に何人住んでいるのか、年齢はどのくらいなのか、といった情報が少ないので、3自治会としては名簿を作るにも、大変苦慮しています。

だから、お祭りなど色々なことを考えても、家族構成が分からない。

例えば、20代ならここに2人いるといった、そんな事を把握しないと、なかなか難しいのではないかと。昔であれば、支所に行けば家族構成なんかも全部教えてもらっていたのですが、最近はそういった事が全く分かりませんので、例えば避難訓練を自治会でするにしても、どこに誰がいるか分からない。民生委員の方なら知っておられると思いますが、まず、そういう人間の把握からしないと、うまくいかないのではないかと思います。

【市民】

小月小学校PTAです。

小学校としても、厳密に言えば、PTAというのは任意の組織であって、加入も強制できません。ただ、現状はと言うと、強制加入にして頂いています。

強制ではないということ、逆に伏せてあるという良い方が良いのかもしれませんが。

自治会でも、加入率とかそういう問題があると思うのですが、以前、私が自治会加入を勧められた際に、加入すれば何か良い事があるのかと聞いたら、明確な回答はありませんでした。

PTAも同じ事だと思うのですが、PTAに入るメリットは何ですかと聞かれる。

結局、今の風潮として、加入することで自分が得られるメリットと、加入したことによって会議への出席等を求められるデメリットを天秤にかける方が多い。

地域として活動するのが、非常に難しい世の中になったのだと思います。

それと、個人情報のお話が出ていましたが、小学校でも、作文を書いてもらったら、名前を出して良いか、撮った写真を掲載して良いかを家族に確認しないとイケない。

そのため、学校では、こんな活動をやっていますといった情報を、現在ならホームページなんかに掲載するのも、非常に難しくなっているという現状もあります。

活動には、入ることによるメリット、デメリットの両方が必ずあると思うのですが、やはりデメリットのことを重く考えられる方が非常に多いし、活動にしても、新しいことを始めようとする、それは難しいという話になってしまう。

それに、PTA会長という役職がどうかと言うと、やはり1年、2年で交代しています。

ここは違いますが、来年はまた違う方になるということで、その時の歴代の会長の考え方によって、色々と変わっていくのかなとも思うので、なかなか一貫して、ずっとその地域のことに携わっていくことは難しくなっています。

小学校として、コミュニティ・スクールも始まっていますが、それでは、今までと何が違うのと言うと、要するに、今までやってきたことが、多分、名前がコミュニティ・スクールに変わったのかなという風に思っていますし、この中にも、何名かコミュニティ・スクールの会員の方がいらっしゃいますが、印象としてはそういうことで、行事の例などを聞くと、個人への負担が非常に大きくなってきているなど感じます。

だから、若い方とおっしゃられる意味も分かるのですが、若い方が、じゃあ仕事において、それに没頭できるかっていうと、なかなか難しい部分もありますし、本当に、子どもを育てていくとか、地域の子どもの増やしていくというのは、減っているという事実は分かるのですが、増やしていく方法という、なかなか無いのかなと思います。

なので、先ほども言われましたように、駅前をもう少し整備して、小月の魅力を出していかないと、なかなか難しいのではないかと考えています。

【司会】

ありがとうございました。

【市民】

小月婦人会の会長をしています。

言いたい事を言わせて頂きますが、まず小月は、長門鉄道がまだあった頃は、かなりの町といいますか、郡部の方たち、今は、菊川と言っていますけど、せめて小月の辺りには娘をお嫁に行かせてやりたいと思うくらい、町に活気のあった時代がありました。

そういう時代を知っていますので、もう少し魅力的な小月の町になってくれたら、今日、ここにも参加されている若い方、今は、小月の町も、2世の方が沢山と出てきておられますので、私たちも助けることができますので、もっと頑張りたいと常々思っております。

だけど、こういう風に市からも住民と行政とが協力し合って、下関の町を、色々と活性化していきたいと思っていられる様子を見ると、小月だけでなく、下関全体もそうい

った市に、高齢化と少子化を一緒になって考えていかないと、下関の町も衰退していくのではないかと考えております。

少し、婦人会の事を言わせて頂きますと、婦会もいつまで続くか分かりません。

徐々に会員数も少なくなって参りましたし、若い方が婦会に入ってきてきませんので、高齢化して参りました。

幸いにも、小月婦人会の会員数は現在200名以上います。

会員の皆さんにも協力して頂けていますので、何とかやってきてはおりますが、ボランティアの団体でございますので、何かをやろうと思えば、やはりお金、資金面で思うようにできないという事もございます。

そこで、今日は市から来られていますので、ちょっと申しますと、市からも、色々なことで動員がかかりますので、色々なことに出ています。

しかし、動員といっても、行ってもらえばタダという訳にもいきませんので、わずかですが交通費を出せればと思案しています。

【司会】

すみません。時間がありませんので簡潔にお願いします。

【市民】

そういうことで、婦人防火クラブとか高齢者の交通安全などをやっておりますが、今ちょっと話に出ましたように、婦人防火クラブで街中の家を歩いて廻っても、どういった方が、何人、何歳といった情報は個人情報ということで、なかなか教えて頂けないのですよね。来月くらいには、歩かないといけないのですが、だんだんとそういった個人情報というようなことで難しくなってきたなどは思っております。

家庭教育推進事業で、子ども達も色々やっておりますが、子どもの数が少ない。子ども達と親を両方集めてして下さいという教育委員会からの指示なのですが、ご両親もみんな働いているので、これもなかなか難しい状況です。

とにかく、色々やろうと思っても、色々なことに縛られて難しいということで、まだまだございますが、次に回したいと思います。

【市民】

小月長寿会から参加しました。

2件ほど、お願いという形になるかと思えますけど。1件は9月20日に、私たち長寿会の者が全国奉仕作業ということで、1年に1回、9月20日にそれぞれの地域で奉仕作業という形で出ている訳ですが、私は小月公園の草取りに参りました。

この件につきましては、第1回目のこういった会のお話が出ておりましたけれども、1番目に付いたのは、私たちが奉仕作業を終えて帰る時に、グランドゴルフの練習に車で来られる方がいますが、車を田んぼの道いっぱいには駐車されておられる。

せめて、あんなに大きな公園があるし、ちょっと奥のほうに入っておりますから、できれば駐車場というものを整備して頂けたらと。そうすると若い方は歩いて行かれるかもしれないけれども、年配の方は色んな物を持ってそこに行くということもなかなか難しゅうございます。そういった意味で駐車場というものがあると、非常に皆が喜ばれるんじゃない

かというような気がいたします。

それからもう1件は、やはり私たち高齢者が思うには、小月の町が安全で安心な町でありたいというのが願いでございます。従って、高齢化がどんどん進んでいく訳で、一人暮らしの方の対策、またそれに伴う認知症の方の対策、また年老いた2人家族の対策、そういったものを、そろそろ研究し、手掛けていかないと、待ったなしではないかと思えます。

これには、先ほどから出ております個人情報の方があって、なかなか難しいという事があります。確かに自治会の方、それから民生委員の方が、一生懸命になってしておられますけれども、今言った個人情報の関係でなかなか思うようにできない。

そういった現状がありますけれども、これは公助の方、市の方と一緒にあって、名簿作成と申しますか、そういったネットマップですか、そういったものが早くできると、その対応もできるのではないかと考えています。以上です。

【市民】

スポーツ振興会です。お世話になります。

先ほどから、人口の問題云々とか言われておられるのですが、スポーツを通して隣の方、また周りの方とのコミュニケーションを取ろうと思って、球技大会、またこの10月27日には第12回の運動会を催すようにしています。

昔のことを話すと、また時代が戻るのですけれども、人口はよく分かりませんが、私が子ども時は9地区の自治会でしたが、今は11の自治会があります。この辺から解消していった程度、会や単位自治会を大きくして、球技なり、消防団の諸々のエリアを少し広げて考えていかないと、どうしても範囲が狭くなるのではないかなと考えております。

それで今、私の自治会の数を申し上げたのですが、昔は9地区で、人口が増えたからということで、現在11地区になっております。

今、小月本町、また小月茶屋他、名称が変わった時に自治会の数を検討するというところで、タウンミーティングでも話があったと思うのですが、その辺も自治会だけの力でなく、行政からも少し自治会が動ける方法、集められる方法を考えていって、コミュニケーションを取っていければと考えております。

【市民】

民生児童委員協議会と申します。民生委員の立場で申しますと、高齢者のお宅を訪問したときに、認知症ではないけど、認知症に近い方が沢山いらっしゃいます。

それはちょっと置いておきまして、ここで話しても仕方ないといったら失礼ですけど、どうにかして解決しないといけないと思うので申し上げます。

今、ここで思いついたのですが、小月の駅前が駐車場ばかりです。それで私は、そこがどなたの土地なのか、そういうことは一切知りませんが、昔、あそこに「ひだ旅館」とか、「菊の家」とか泊まる旅館というか、そういう施設がありました。

今考えると小月には、よそから来られて泊まる所が無いので、国道筋にサービス付き高齢者住宅とかそういうものは出来ていますが、よそから来て泊まるようなホテルとまではいかないのですが、行政の力などをお借りして、何かそういう建物が、少しは小月の駅の辺にできたら良いのではないかと、今、思いつきました。以上です。

【市民】

社会福祉協議会の副会長をしています。

先ほどから何人の方が個人情報保護法以来、異常なまでの人権尊重のことがあって、活動のネックになっていると言われました。これはもう、今でも直面しております。

話は変わりますけれども、小月の社会福祉協議会で取り上げないといけない事として、福祉員制度が導入されたわけですが、その事について、まだ小月ではしっかりした、はっきりした所まで至っていないので、今日来られている方をお願いするのですが、他地区において、その取り組みというか、このやり方というか、参考になるような所があれば、紹介して頂きたいと思います。

それから、話はまた全く変わりますけれども、私は第4自治会の会長をしています。

自分のことは自分で、自分たちのことは自分たち皆でというのが、それが一番根底になるようにならないといけないけれど、どうしても自分たち皆で出来ない事もある。

そのケースとして、先日、小月の河川一斉清掃があったのですが、その際、本当は気の毒になる程、一生懸命に茶屋側の清掃をされたのですが、その後、ごみの回収に2週間から20日近く、色んな事情もあったのでしょうが、放ったらかしというような事がありました。苦情もあって、私も市の方に要望しました。

【司会】

ありがとうございました。それぞれ皆さんから沢山の課題を出して頂きました

中には、解決方法までの話もありましたけれども、そういうことを考えて頂きながら、スライドであちらの方に課題として出しておりますので、その課題について、できるだけ解決するにはどうしたらいいか、どういうことを考えたらいいかというような方法を、今から後25分ぐらいしかありませんが、進めていきたいと思います。

その辺で、まず一番初めに出ておりましたのは、消防団の団員が少なく、活動に支障が生じるという事でした。

そのことについて、始めたいと思いますが、関連した問題もあると思いますから、その辺で抜ける所もあるかもしれませんが、できるだけ全部の解決策が出れば良いなど思っております。

今日は1回目で、また次があるかもしれませんが、途中で終るようなことになるかもしれませんが、先ほど言いましたような事を考えながら、今日は地域内分権という事で、自分たちがどういったまちづくりをしたら良いのかということ根底において、色々ご意見を頂けたらと思っておりますので、その辺で解決の方法を考えていきたいと思います。

今申しました消防団員が少なく活動に支障が生じるという事ですが、例えば、具体的にどういうことがあるのか、あればお話し頂いたら、皆も考えていきやすいのではないかと思います。

【市民】

今まで過去の消防団活動の中で、消防団員がほとんど小月の場合は、商店街の閑散が主な問題です。だから地元いらっしゃるので、火事になった時でも、すぐに飛んで行くことができたのですが、最近では2代目、3代目がいらっしゃらないので、会員で地元の商

工会の会員さんが団員になることが少なくなっています。

そうすると、サラリーマンの方、地方にいらっしゃる方、働きに来ている方が、団員という形もあると思うのですが、いざ火事になったときに出動できる人数が、だんだん減ってきていると言っていたと思います。

なるべくなら、地域で考えれば小月にいつもいらっしゃる方が、本当は良いのですが、なかなか現状は難しい状況です。

そうなってくると、地域で年齢ということもあるかと思うのですが、若い方で、もし地元で仕事をしている方がいらっしゃるのであれば、会員以外でも団員になって頂ければ、一番良いのかなと思っているのです。

会員にしても、なかなか首を縦に振ってくれません。そうするとやっぱり昔の消防団のイメージを持っていらっしゃる方が、まだいらっしゃるのですけれども、その辺を払拭していかないと、なかなか団員になってもらうのは難しい現状だと思っています。

【司会】

防災の面から考えると、それから先ほど長寿会の方からも出ておりましたけれども、安心して安全な生活をしていくためにも、消防団の団員が増えなければいけないというご意見であったかと思っています。

そのことについて、先ほどから少子化の問題も併せてですが、色々ご意見が出ておりました。あそこは、こうしたら良いのではないかというお考えがありましたら、ご意見を頂きたいと思います。

先ほど、独居老人の場合どうするのかという話もありましたけど、それぞれ自治会でも避難する時にはどうしたら良いのか、ということもあろうと思います。

それから、先ほど出ましたサイレンが聞こえないとか、公民館をもっとどうにかしたら良いとか、色々ありましたから、その辺に関連して、併せてご意見を頂いても良いと思います。いかがでしょうか。

【市民】

サイレンの件、スピーカーの件です。昨年、市長にタウンミーティングで提案したと思います。高い所に何か所かサイレンを付けるなど、諸々して頂けないかという要望をしました。

予算的なことがあるので、というお話は聞いていたと思うのです。それと今、下関市か、山口県か、或いは日本なのか分からないのですが、消防団員の件で、企業が何歳から使えば費用弁済してくれるというお話が出ていたと思うのです。

その辺を一度調べて頂いて、給料などの補助が出る方法があれば、この地区にも企業がありますので、企業に対しても自衛消防というのがあるんですけど、プラスアルファ的なことを市の方から調べて頂いて、考えてみたらどうなんでしょうか。

ただ消防団という感覚と、今いう自衛消防プラスアルファを増やして、やはり防災を考えたらどうなんですか。私が言う立場では無いかもしれませんが、企業的に何か出ていたと思うんです。

【市民】

今言われた企業に対して下関市は、一応、活動体制は企業的にはしてもらえますけど、他の山陽小野田市や宇部市の消防活動に出る場合、自分達が出動した場合には、費用などが会社に対して出るそうです。

ただ、下関市の場合には出ません。だから、消防活動をするときに、会社の中で消防団員の活動をしますけど、そこから出動という形で出て会社としては、その個人に対しては欠勤とか早退とかそういう形にはできないそうです。これは今、下関市はそういう風に私は聞いています。山陽小野田市とか宇部市の方は、市から費用的なものが出ると聞いています。それが確かかどうか分かりませんが、そういう風に聞いているので間違いはないと思います。

【司会】

ありがとうございます。消防団員のことは、そういう事でお分かりになったと思いますので、この辺で終わりにしたいと思います。

次のサイレンとか公民館のことは、多分、行政情報の所に入るとと思いますので、私たちが考えるには、ちょっと難しい問題があったと思いますので、次に飛ばさせていただきます。

少子化で将来が不安であるという事ですが、少子化は大きい問題ですけれども、少子化の事について、色々皆さんからご意見を頂けたら、まちづくりには特に役立つのではないかと思います。少子化ということで女性の目からどうでしょうか。婦人会長さんどうでしょうか。

【市民】

そうですね。先ほども話が出ていましたけれども、やはり魅力ある小月にして、若い人がたくさん住んで頂かなければ、実際、子供さんも増えない。今、清末では、かなり人口も増えて、児童、生徒の数が多くなったと聞いております。

何とか小月に、少しでも若い人が住んで下されば良いのですが、今すぐというのは難しいと思います。

【司会】

少子化の事で、ちょっと難しいんですけども、今、下関市内で増えている地域は、川中地区と清末地区だと、参考の資料にも載っておりました。

そういう面でいうと、小月はどんどん減っているという事で、ちょっとでもそれを少なくしていくためには、どうしたら良いのか。これは問題になるんじゃないかと思いますが、子ども会の方で何かその辺ではありませんか。

【市民】

若い人に、更になんか頑張って貰う事が一番なのかなと思います。なるべく、そういう人が住みやすいとか、集まりやすい理由があるまちづくりが、何かできたら良いなと思います。

【司会】

今、魅力あるまちづくりという話がありましたが、魅力ある町とはどんな町でしょうか。それがもう少し具体的になると、皆さんが今から考えていくために良いのではないかと。

【市民】

市の方で、今、都市計画が出来ております。市街化区域、市街化調整区域など線引きがあり、諸々8つぐらいの分類があると思うんです。

その辺、昔、小月の市街化調整区域を解いて欲しいという事で、かなり要望を出したのですが、市街化区域にはなっているのですけれど、住宅は今、更地になっており、まだまだその辺の単価的なものと、早く都市計画を見直して頂かないと、人が住まないと思うんです。

逆に、そういうのは解いていかないと、美祢近辺、山陽地区の方に地価が安いからいくと思うんです。都市計画の見直しを考えていけば、税金（都市計画税）が少なくなると思うので、住みやすくなるのではないかと。

【市民】

先ほど、いきなりで言えなかったのですが、やはり小月は施設が少ないということで、活動する場所もありません。先ほどの話に出ました旅館も無いですし、食事処も無いということなんです。

健全な、家族で行けるような、ちょっとした大きな食事処が欲しいですし、文化面が全然ない。図書館が、以前小月に出来るとかいう話もあったようです。

子どもにとっても魅力がある、そういう所に安心して行ける、安心・安全なまちづくりは案外、小月は進めていると思うんです。住むには本当に良い所と思いますけれども、そういった文化面が本当に無いですから、何か1つそういった大きなものを小月に造って頂けたら良いと思います。

【司会】

他にはどうでしょうか。先ほど、もっと魅力的な町をという意見がありましたが、それと関係していると思いますがどうですか。少子化関係は、なかなか国を上げての問題ですから、難しいかもしれませんが。

それでは、これぐらいにして、次のことにも関係していると思いますので、子どもの遊び場所がないということで、例えばどういうことですか。全然ないということはないと思うんですけど、その辺のことで先ほどの追加の意見があれば、どうぞ。

【市民】

遊び場所が全く無いという訳ではありません。公園などで、親が付いていなくても遊ぶ小学生とか、幼稚園の上の方ぐらいなら良いのですが、保健推進委員の活動に来るお子さんというのは3歳以下なのです。

そうすると、どうしても親が付いてくるんですけど、暑くて外で遊んでられないというのもあるし、公園というのは日影がない。遊具も熱くて、夏場なんか全然使えないし、結局家にこもる感じになる。

ご近所に子どももいないし、お友達もいないということで、結局孤立して、たまに来られているという子のお母さんは、大丈夫かなというお母さんもいます。

ご近所に同じぐらいの子がいないのかと聞くと、全然いませんとかいうことで、結局少子化が問題になるんですけど、どうしても若い人が地元で職場がないので、結局県外に出て行って、そのままそこに定住してしまっていて戻ってこない。

先々子どもが帰ってこないから、この家もどうでもいいやという方の話も結構聞くので、結局、地元の企業に家から通える所に、職場がどんどんできてくれば、子どもも定住というか出て行かないし、若い人たちも外に出ていなくなる。

企業を引っ張ってくるというのは、大変難しい話ですけど職場がほしい。家から、小月から通える範囲の中で、仕事場がほしいというのが一番かと思います。

【市】

地域で何ができるのか。地域でもできない大きなことにもなってしまう、というところもありますが、まずは地域で皆さん力になれるかという意味で、何か行政を巻き込んで色々やってみようかという、そういうお話をいただくと我々も幸せます。

【市民】

少し話題が変わるんですけど、企業は割りと多くある地区だと思うんです。日清、シマノ、ニチモウなど十分過ぎるぐらいあるんじゃないかと思います。

ただ私が思うのは、吉田小学校の話なんですけれども、すごく手厚い児童クラブがあるんです。

親が働きに行っていない人でも行けるということで、小月にも確かに公民館でやっている児童クラブはあるんですけども、ほぼ無料で、例えば川に魚を採りに行ったりとか、アユのつかみ取りだとか、すごく子育てがしやすいというのを、吉田小学校の保護者の方から聞きました。

だから、子どもを増やそうとかいうのは、なかなかできないのかもしれないけど、子どもたちの両方の親が働いている家がほとんどですから、保育園、幼稚園は別かもしれないですけど、小学校になれば、本当に児童クラブの充実は必要で、結局親が働いている人だけが集まるということをしていると、なかなか児童クラブに馴染めない子は、例えば1年生でも親がいないけれども、カギを持って家に帰っているという現状があるのです。

もう少し子育てをしやすい環境を作っていかないと、なかなか若い人が移り住んでこないし、そのうえ家賃が高ければ住まないですよ。

土地はあるけど、土地は高いから住まないし、地価を下げることもなかなかできる話ではない。だから、この地区に住みたいというふうにしていかなきゃいけない。

スーパーにしても、十分過ぎるぐらいあると思いますし、近くにショップがあつて、ほとんどの方が車とかで通勤されるので、下関市内にばかり人口が増えているかというところではないはずですよ。

まずは、小月駅を降りて真っ暗とか、そういうところを改善していかないといけない。バスの本数も減り、電車の本数も30分に1本。そこをどうにかすることはできないと思うので、児童クラブをもう少し充実するとか、保育園とか幼稚園の時間を、例えばもう少し長くするとか。

これは、私たちでできることではないんですけども、やっぱりもう少し親御さんの働く時間帯っていうのも考え、杓子定規に夕方5時に帰れるような人たちがばかりではないので、何かそういったことができてくれば、多少は違うかなという思いはします。

【司会】

ありがとうございます。今、少子化とそれから遊ぶ場所がないということと、働くところかもっとほしい。また、児童クラブの活用にもっと力があるんじゃないかなど、色々ありましたが、他にご意見はありますか。

【市民】

清末の方にたくさん家が建つのは、小月は清末などに比べて地価が高いと聞きました。だからみんな、清末や王司に家建て、特に清末の方は今、どんどん家が建っています。

だから地価が少し安くないものか。小月駅があるから、少し高いのかもしれないが、高校生になったときに電車通学ができるなど、駅があるから良い面もあり、だから地価を少しでも安くしていただく方法はないのでしょうか。難しいんでしょうね。

【司会】

地価の問題が出ましたけれども、その辺は私もよく分かりませんが、実際、小月の地価は高いのですか、どうですか。ふるさとづくり推進協議会長さんは、その辺なんかご存知ですか。

【市民】

私は調査してないけど、噂によると一時より下がっているらしい。それは何故かと言うと小月駅前が水で浸かります。そういう関係で、地価が下がったのではないかというふうな話は聞いております。

【司会】

だから、かなり下がったから今は、小月は清末よりも安いのではないかという話しも聞いたことがあります。そういう状態になっているようですので、そればかりではないですけど、大変難しい問題ですので、それはこの辺で置きます。

【司会】

ちょうど時間となりましたので、課題がたくさん出ましたけれども、消防団の件と少子化、それから遊び場所の問題。それに関連して、文化施設が少ないとかいうこともありますが、そういう現状しかご意見をいただくことできませんでした。

これから2回目、3回目と集会が続くようですので、またその際に素晴らしいアイデアを出していただいて、ご意見をいただきたいと思っております。あまり良いまとめにはなりませんけど、その辺で市の方からご意見がありましたら、まとめをいただいたらと思います。

【市】

自治連合会長さん、司会進行をありがとうございました。最後に部次長の方から、感想などを述べさせていただきます。

【市】

今日は、お休みのところ貴重なお時間をありがとうございます。最後に、市の方から意見をということでもありますけれども、今日のお話の中で地域として、自治連合会とか、それぞれの組織の中だけでは、なかなか細部まで踏み込めないという課題があると思います。

行政の人と協力して、どうにか少し次の気運が高まればということと終っている課題が、意外とたくさんあることを皆さま少し感じられたんじゃないかと思えます。

そのような中で、自治会長から頑張ってやれば良いじゃないか、という話があったり、PTA会長から少しでもできることを、やっていけば良いじゃないかとか言われるように、もしかしたら、こういうふうな少し広い場で特定の方、今回は私の方でご案内して、参加いただいた団体の方なんですけれども、目的をひとつに絞って、少しきちんとかういう場を持ってすれば、日頃は自分の目標に対してのみ、色々と日々活動しておられて、なかなか日頃からの広がりのように協力とか、会合に出て来なくても、こういう場であれば、少し出てくるということもあろうかと思えます。

また、個人情報の話なんかも、一概に現場で動くのはなかなか難しいというのは、当然の話なんですけれども、地域で話し合いによって協力すれば、いわゆる人と人の中で流れていく情報というのは、非常に有益なものとして、つながっていくこともあろうかということになってきます。

私の方としては、今回こういうふうに上がった色んな課題は、やっぱり地域がひとつこれをしっかり協議してみようという話を、これからは1つでも2つでもすることが、地域力であるとか地域のいわゆる元気の源になるというふうに思っています。

それでは、1年に1回、或いは2年に1回すれば良いという訳ではないのですけれども、こういうふうな意識を自分たちの課題として考える場合に、行政は、やはり地域として、また色んなご意見を出したり、できることと、できないことが沢山あります。

場合によっては、一気に行政が力強く施策を切り替えていけない場合もあるかと思えますけれども、そういう風な一つの地域を支えたり、地域で頑張る新しい動きを始めておかないと、少子化という大きな動きの中で耐えられない。

結局、仕方がない、仕方がないで、だんだん廃れていくだけでは、本当に地域が無くなってしまふような怖さが身近に感じられるところがありますから、それらの中で、是非、今回掲げられた提案を私たちも意識しますけれども、できればまずは、皆さんがお集まりの中で、解決できる範囲内の協力や解決できるものは進めていただきたいし、やっぱり大きな場の中で、少し解決していく道しるべを必要とするのであれば、是非、このようなまちづくり集会、次のまちづくり会議というような場を通して、大いに皆様がそういうものを1つずつ決めていこうというふうな、地域の中での意識を持って、こういう会を積極的に活用していただきたいと思っています。

こちらも応援させていただきたいと思っていますので、今日は全部答えがないことばかりで申し訳なかったんですけれども、こういうような場を通して、次に向けて小月の町づくりの気運を高める動きを、是非皆さんから示していただきたいし、応援させていただきたいと思っていますので、これからもよろしく願いいたします。今日は、どうもありがとうございました。